

土地利用計画図

変更後

開発許可
年 月 日

第 平成 年 月 日
号

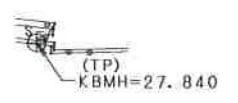
申請者

代表取締役 佐野 力
高松市国分寺町福家甲3725番地1
(株) フロムファースト・ユニティ

作成者 住所・氏名

高松市郷東町吉式五番地
行政書士
品治 民章

(印)



凡例

一戸建て住宅
1階 76.50m ²
2階 71.00m ²
延床面積 147.50m ²
建ぺり率 78.00%

凡例

図例	品名	サイズ	評語
□	宅内排水、排水幹線	ホ「リア」ロビレン350型 肩広レシ「コン」	15cm径標準
○	宅内汚水幹線	ホ「リア」ロビレン350型 肩広レシ「コン」	インバート管
□	給水栓	PEP20	
←	排水接続管	VUφ150	宅内排水幹線
←	排水接続管	VUφ150	街渠幹線
┌┐	カッター		現場打5
┌┐	街渠幹線	グレイチング F-14 (管径φ6.0m未満)	現場打5
┌┐	排水管	リアφ250	既設品
┌┐	水道管	HI 40	
⊗	仕切り弁		
⊗	土砂吐きドレーン		
○	1号マンホール	φ600mm インバート管	マンホール蓋は、汎用品とする

※日地材はエラストイト (t=10mm) とし10m以内当り1.0ヶ所とする。
 ※宅内幹線については、できる限り境界付近に設置する。
 ※宅地の木及び土が道路に流出しないように盛土勾配は最上流に向けて整地する事。
 ※排水接続管 (宅内排水幹線及び街渠幹線) においては土盛り60cm以下の箇所は管保護を行う
 ※重力式擁壁 (道路擁壁除く) の載荷重は3.5kN/m²以下とする事。
 ※「擁壁から50cm以内の区域は、空地として荷重を載せない事。」
 ※泥だめは15cm以上設ける事。
 ※雨水を築木する際には穴あき蓋を使用する事。
 ※全区画 合併浄化槽による放流 (2号地、7号地) 凡例のとおり
 ※市道・構造物とL型側溝の取合せ部は、致差なしの据付け施工とする。
 ※宅内排水管の土盛りは、20cm以上、勾配1.0%以上とする。
 ※管交差部のクリアランスは10cm以上とすること。
 ※本管への取付けは「支管接合」によること
 ※本管がVU or VU (R) の場合、マンホール継手は可とう式継手とする。
 ※マンホール蓋は、汎用品とする。
 ※雨水・汚水マンホールについては、インバートと施工する事。
 ※既設改修水路へ放流する街渠幹線や宅内幹線の放流高を通常水位以上とすること。
 ※開発協議の対象は、最終日から一次放流先までとする。